

↓海の香りが漂う会場で、新鮮な海・山の幸のバーベキューを楽しむ来場者



心地よい潮風を浴びながらのクルージング



熱いアツドヒートを繰り広げる漕ぎレース



みんなの広場

波多津みなと祭り
海の恵みを思い切り体験

市内唯一の漁港、波多津漁港で波多津みなと祭りが開催されました。地元の板木法行太鼓の演奏で開幕すると、波多津保育園の園児によるよさこいやバンド演奏などが次々と披露されました。会場では海・山の幸バーベキューや海産物・農産物の販売などが行われ大盛況。海上では7チームが出場したる漕ぎレースやクルージングも催され、日中の最高気温が10月の観測史上最高を記録したこの日にふさわしく、熱気あふれるイベントとなりました。

RKB ラジオまつりに伊万里牛のブースを出店
福岡でも伊万里牛は大人気

福岡市のRKB放送会館とその周辺で、第20回RKBラジオまつり2016が開催され、伊万里牛のブースを出店しました。2日間で1,000食販売した伊万里牛焼き肉は両日とも短時間で完売するほどの人気ぶり。また、伊万里牛などを返礼品として贈るふるさと応援寄付金のPRも行い、ブースは多くの来場者でにぎわっていました。



↑伊万里牛焼き肉を買い求める人でにぎわうブース

↓『かけ和え』に使うゴマを力を入れて擦る子ども



親子おくんち料理教室
郷土の伝統を引き継ぐために

伊万里公民館で親子おくんち料理教室が開催されました。これは、おくんちで客をもてなす機会が減るなか、地域で引き継がれてきた伝統文化を次の世代に繋げようと、NPO法人伊万里のおくんち振興会が毎年開催しているものです。参加者は講師の指導を受けて『栗おこわ』、『にごみ』、『かけ和え』など6品を作り、手の込んだ郷土の味を楽しみました。

このコーナーでは、あなたの周りの身近な出来事や話題を待っています。市役所情報広報課広報係までご連絡ください。(☎234313広報係直通)

オランダ駐日大使に『鍋島』を献上

伊万里鍋島焼協同組合による『献上の儀』がオランダ大使館（東京都）で行われ、アルト・ヤコビ駐日大使に酒器『間取吉祥チューリップ唐花紋瓶子』が献上されました。これは、『鍋島』を平成元年から城がある自治体の長などに献上しているもので、今回は有田焼創業 400 年を記念して、県と最も関係が深いオランダに献上したものです。



↑アルト・ヤコビ駐日大使（左）に瓶子を献上する畑石真二代表理事

↓塚部市長（中央）から伊万里梨が入った袋を受け取る運転手



伊万里梨で事故ナシ・飲酒運転ナシ

交通安全（事故ナシ・飲酒運転ナシ）キャンペーンが行われました。塚部芳和市長や鶴直人伊万里警察署長をはじめ、市交通対策協議会、市交通安全指導員会などから約 40 人が参加。伊万里梨や交通安全マスコット人形（市老人クラブ連合会 寄贈）を入れた袋を運転手に手渡ししながら、『交通事故ナシ』と『飲酒運転ナシ』を呼び掛けました。

大坪地区住民が太良町に避難

県内の自治体や関係機関、福祉施設などが参加して県原子力防災訓練がありました。今回初めて地震による複合災害の発生を想定して実施され、市内では、家屋倒壊で屋内退避できない5世帯 16 人が大坪公民館に避難。また、バスや自家用車で太良町に避難する 140 人には、職員が安定ヨウ素剤の説明をしたあと、配布する訓練も行われました。



↑避難所で担当者（左）から安定ヨウ素剤を受け取る避難者

↓代行シェアリングなどアプリを使ったカーシェアリングを提案



高校生と大学生が伊万里を考える

しごと創りセンター『PORTO 3316 IMARI』（伊万里まちなか一番館内）で、地方発シェアリングエコノミー創造アイデアソンが開催されました。まちづくりに関心がある高校生や大学生など約 20 人が参加。テーマごとに5つのグループに分かれてアイデアを出し合い、伊万里の課題とそれを解決するためのユニークな提案をしていました。